※文字の大きさは Meiryo UI ／12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、（写真１）（表１）などと文中に記載し、右ページに（写真１）（表１）などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ずＡ３片面１枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは５MB 以下としてください。

※事務局記入欄
No. 90

【様式２】

エントリー学校名： 熊本県　八代市立郡築小学校

活動名：
児童が真ん中の学校改革　～きほんの共通理解でみんな楽しく～

解決すべき課題：
・１学年１クラス（３０人～３９人）で担当児童数・校務分掌も多い中での職員の負担感
・学校の方針に沿った活躍の場が得らず、充実した生活を過ごすことができない児童集団
・学校の教育目標の具現化の不足

目標・方針:
児童の学校経営の参画による、教師の負担感の軽減・専門性の向上と児童の充実感・成長の保障
・教師・児童が学校の教育目標を共通理解。
・学校の教育目標に実現する、児童の学校経営への参画。
・負担感軽減による教師の専門性の向上

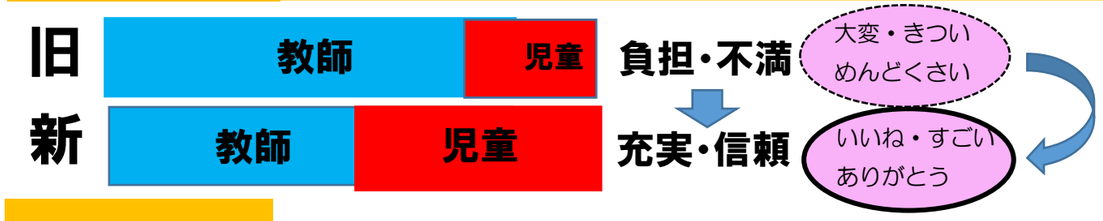
活動内容：
・学校の教育目標を具体化した姿を討議しはっきりとさせ、**「ぐんちくのきほん」という形で明文化**する。
・「ぐんちくのきほん」は小冊子にし、すべての児童に繰り返し理解させ、**努力の方向**をイメージを持たせる。
・学校の教育目標を実現するための手立てを、**児童が主体**となり検討し企画実現する。
・児童の学校経営の参画によって生まれた時間で、教師が**専門性を向上**させ日々の授業を充実させる。
・児童の活動は、積極的に**学校外に発信し**、地域の理解と信頼を得る。

活動の成果：
・「きほん」の共通理解により、教師・児童の努力の方向性が具体的になり、**学校が総体**となり努力することができるようになった。
・「きほん」を軸にした、児童（児童会）の学校経営参加により**教師の負担が軽減**した。また、生み出された時間によって、教師の様々な**自主的な研修が可能**になり専門性が向上した。
・**児童の活躍の場の広がり**により、児童が様々なことに**自分から挑戦**しようとするようになった。
・上級生が下級生の**「あこがれ」**となり、伝統がはぐくまれる風土が生まれた。
・児童の学校の枠を超えた頑張りに対し、**地域から感謝の声**が数多く寄せられた。

アピールポイント（アイディアや工夫）：
・学校教育目標を具現化するために、すべての教職員、児童と検討して作成した「ぐんちくのきほん」は、**学校全体の向かうべき方向を一致**させ、教職員だけでなく、地域・児童にまで学校が目指すものをはっきりとイメージ化させることに成功させることができた。
・目指すものがはっきりしたことで、無理無駄が減り、**教育活動がより効率的・効果的**になった。
・「ぐんちくのきほん」と児童会の取り組みを連携させていくことにより、きほんの中に書かれている内容が、教師から指導されて高めていくのでなく、自分たちの努力によって高めていくものになっていった。**他人事から自分事への変化**が起きた。

課題の明確化

教師が担う役割が多すぎる一方、児童には活躍の場がなく、両者に充実感がない。



目標・方針

学校教育目標を具現化し、児童が活躍できる仕組みと場を作る。

活動内容

教師は専門性の向上に努め、児童は活躍の場を創造する。

成果

教師は専門性の向上に努め、児童は活躍の場を創造する。